

## 茨城大学バスケットボール大会 ルールについて

審判委員会

以下の点を除き、原則として日本国内の現行ルールを採用する。

1. 競技時間は1クォーター7分間の4クォーター制とし、ハーフタイム(第2・3クォーター間)は5分間、クォータータイム(第1・2、第3・4クォーター間)は1分間とする。また、試合間は10分間とする。
2. フリースローのときとタイム・アウト、審判が特別に認めた場合を除き、第1～3クォーターは流し計時とし、第4クォーターは正式計時で行う。(現行ルールにおける残り2分からのフィールドゴール成功後のゲーム・クロックの停止も行う)
3. タイム・アウトは、1チーム1試合につき4回とることができる。(クォーターごとの制限はない)
4. チーム・ファウルは、1チーム1ハーフにつき8回目からの罰則をフリースローとする。
5. テクニカル・ファウルの処置は、すべて2ショット+スロー・インとする。
6. ゲーム終了後から主審がスコアシートにサインをするまでの間にスポーツマンらしくない行為(審判に対する暴言・乱闘等)があった場合は、審判委員会と競技委員会で協議し、何らかの処分(-20点・出場停止等)を行う。
7. 同リーグ内で重複エントリーしているプレイヤーがいた場合、いかなる理由があっても、登録している両チームにおいて、すべての試合に対して-20点の処置を行う。対象となったプレイヤーは、どちらかのチームで試合に出場することができる。

その他規則に示されていないあらゆる事項に関しては、主審の決定を最終決定とする。

### 注意！

1. ピアスや指輪、ネックレスなどの貴金属類は必ず外してください。宗教上の理由等であっても外せない場合は、他のプレイヤーに危なくないようにテーピングなどで覆いをしてください。その他の用具等に関しても必ず審判員の指示に従ってください。
2. 手指の爪は短く切っておいてください。長い場合は出場を認めないことがあります。
3. テープ等で貼り付ける背番号を使用する場合、試合中にはがれたりして審判が番号を判断できないと判断した時点で他のプレイヤーとの交代を指示します。万が一、コート上のプレイヤーが4人になってしまう場合でも、一旦ベンチに返って直してください。
4. コートにおける練習及びアップは、試合前の10分間とハーフタイムに限定します。クォータータイムは練習できません。
5. ユニフォームはできるだけ対戦相手同士で連絡を取り、同色系にならないようにしてください。

その他、ルールに関する質問は、

埼京(TO・審判委員長)までお願いします。